

本要望に 対応する 縮減案	—
---------------------	---

合理性	政策体系における政策目的の位置付け	基本目標Ⅰ 安心・信頼してかけられる医療の確保と国民の健康づくりを推進すること 施策大目標10 全国民に必要な医療を保障できる安定的・効率的な医療保険制度を構築すること 施策目標10-1 データヘルスの推進による保険者機能の強化等により適正かつ安定的・効率的な医療保険制度を構築すること
	政策の達成目標	国保連合会の審査支払業務等の更なる高度化・効率化のため、その原資を計画的に調達しやすい制度とする。
	税負担軽減措置等の適用又は延長期間	令和6年4月1日からの恒久措置。
	同上の期間中の達成目標	国保連合会が行う審査支払業務等の更なる高度化・効率化のための費用を計画的に積み立てることで、手数料の急激な増加を抑制しつつ、必要な費用を確保すること。
	政策目標の達成状況	—
有効性	要望の措置の適用見込み	47件（全ての国保連合会）
	要望の措置の効果見込み（手段としての有効性）	国保連合会が行う審査支払業務等の更なる高度化・効率化のための費用を計画的に積み立てることで、手数料の急激な増加を抑制しつつ、必要な費用を確保できる。
相当性	当該要望項目以外の税制上の支援措置	国税でも同様の要望を行っている。
	予算上の措置等の要求内容及び金額	令和6年度概算要求額 25億円 ※ 統合的かつ効率的な審査支払機能の運用に向けた国保総合システムの改修 25億円
	上記の予算上の措置等と要望項目との関係	上記予算措置は、国保連合会の審査支払業務等の更なる高度化・効率化のためのシステム開発・改修費用のうち中心的なものである国保総合システムに係るものを支援するものである。他方、本要望項目における税制措置による積立資産は、その用途を特定のシステムに限らず運用可能であるほか、システム開発・改修費用だけでなく、運用保守費にも活用可能となる。
	要望の措置の妥当性	国保連合会に求められる審査支払業務等の更なる高度化・効率化のためには、複数のシステムを開発・改修する必要がある、その各々のシステムに係る費用が、複数年度にわたり生じる見込みである。こうした実情に対応するため、補助金に比して柔軟な運用が可能な積立資産を計画的に積み立てることが、費用の確実な確保につながる。

税負担軽減措置等の適用実績	—
「地方税における税負担軽減措置等の適用状況等に関する報告書」における適用実績	—
税負担軽減措置等の適用による効果（手段としての有効性）	—
前回要望時の達成目標	—
前回要望時からの達成度及び目標に達していない場合の理由	—
これまでの要望経緯	—